

国東 夷耶馬 清水畑岩稜ルート

日 時：令和 5 年〔2023 年〕 4 月 2 日

参 加 者：中山正浩・土橋誠・岡村繁雄

行動時間：5 時間

国東半島の岩稜歩き、車で行く途中も所々で桜が満開。

焼尾ダム脇の駐車スペースに車を駐車〔8:04 発〕 後野越からハーネスを装着後、縦走開始〔8:46 発〕



焼尾ダム脇の駐車スペース



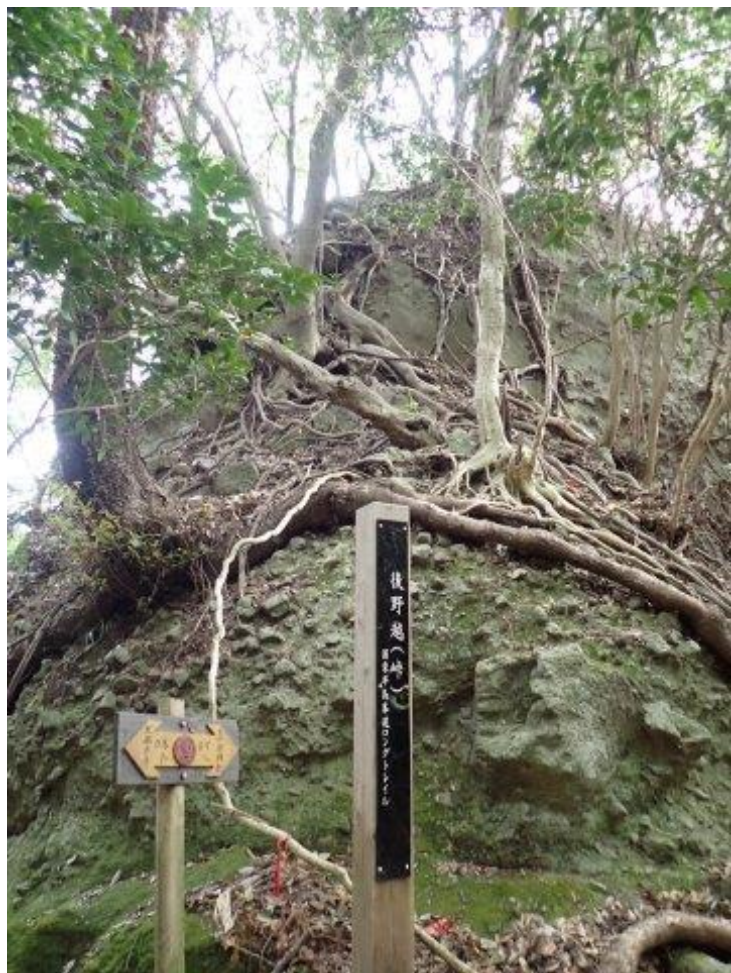
登山口



後野越

国東 夷耶馬 清水畑岩稜ルート図





後野越の標識より取付く



岩稜の稜線



P 2 より



P 2 の懸垂下降

P 2 の下降は傾斜もゆるく、中ごろからクライミングダウンする。

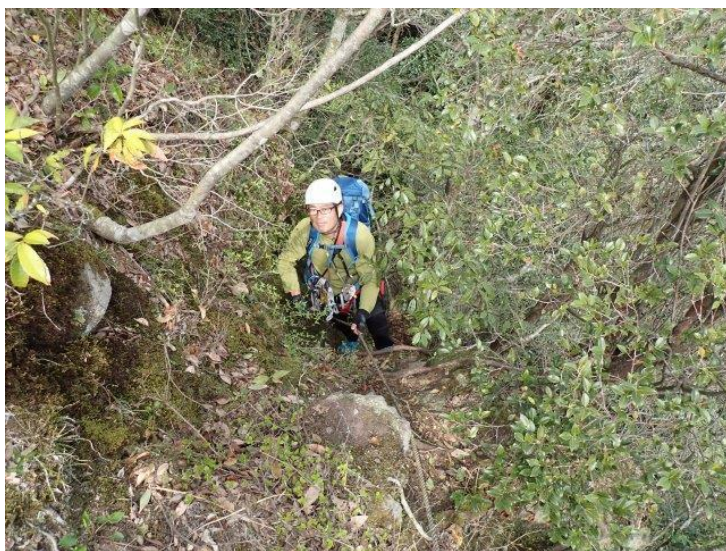


P2岩峰の全景



P 3 付近

右手に回り込んでトラバース。



フィックスロープを伝って進む





P 4 から P 6 の岩峰 国東近郊の礫岩独特の稜線



P 4 へ向かう先行パーティー



P 4 付近の稜線歩き



P 5 より一回目のクライミングダウン



P 5 より二回目のクライミングダウン



清水畑



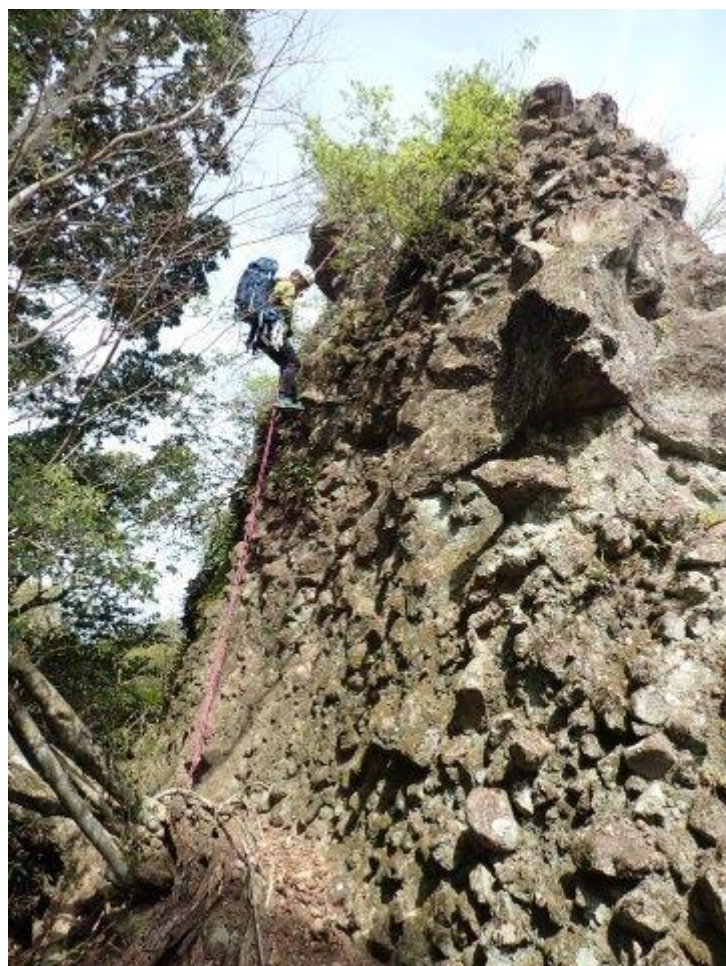
P 6 ピークの標識

清水畑〔石柱の上に黄色い小さな札（清水畑 322.3mと記載）〕〔10:15 着〕

ここより右に回り込み、ザイルで確保し登りあがったP 6のピークに、清水畑の標識あり。



P 6 より一回目の懸垂下降



P 6 より二回目の懸垂下降

**P 7と思われるピークより
P 6を懸垂下降する後続パーティー**



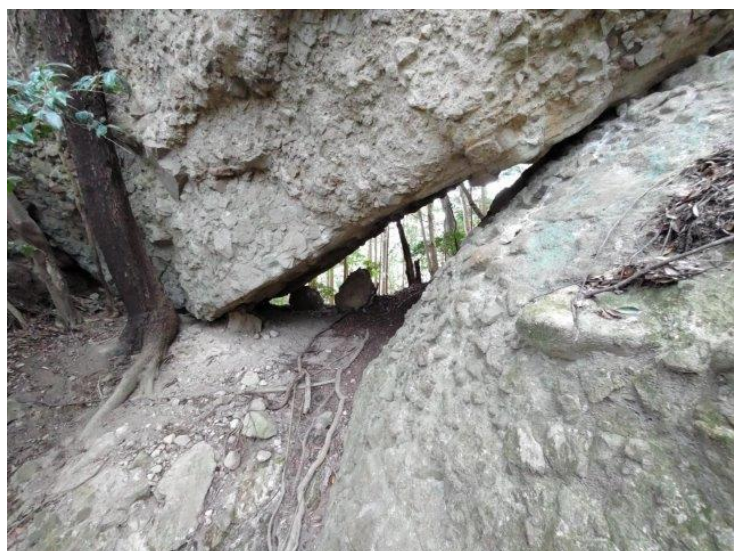
P 6二回の懸垂下降後、次のピークへ木の根を伝って登り上り、尾根をつめてP 7と思われるのピークへ。
ここで、行動食を食べて休憩。

P 7と思われるピークの先は切れていて進めず、北側の急斜面を木を伝って下降。

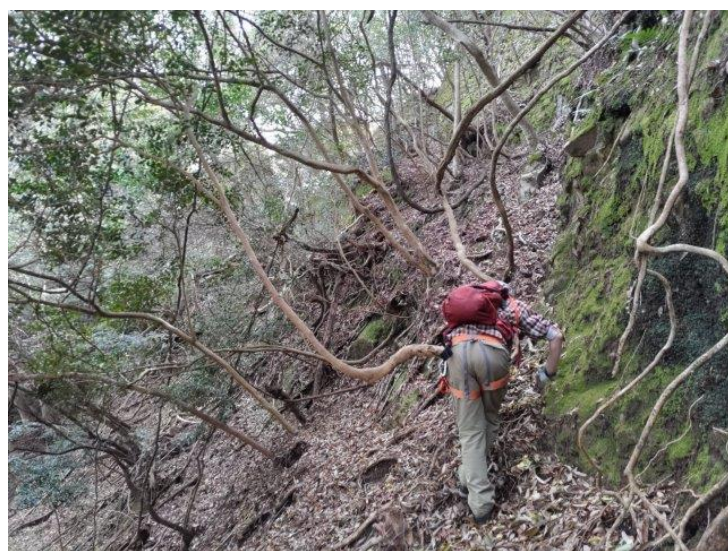
下降して回り込んだP 7とP 8間の下部に、岩の窓を確認。

事前の資料でこの付近は岩峰の北側をトラバースとあったので、この岩の窓をくぐらず、足場の悪い 下
部の斜面をトラバース。

P 6の懸垂下降後からP 8 岩峰の先のピークまでは、初見でのルートファイティングは、分かりづらい。



P 7から下降後の岩の窓



P 7からP 8 岩峰の北側下部 トラバース



後方 P 8 の岩峰 [11:50]



P 9 へ向かう稜線

P 9 へは迷うことは無いが、最後の登りは上部にフックロープがあるものの急で足場が悪い。私は昨日の花見山行での疲れが出て、体力の低下を痛感させられる登りであった。P 9 を通過後、コルから林の中を谷方向に下山。



P 9 のピークにて [12:16]



コルから林の中を下山



焼尾ダム [12:57]



焼尾ダムより [P 6 から P 9 あたり] を望む

夷耶馬 清水畑岩稜ルート全般は、初級の岩稜歩きといった感じであった。

前半は岩稜の稜線を行くため迷うことはないが、後半の清水畑 P 6 の懸垂下降後のルートは、P 8 岩峰の先までは、岩峰下部の北側をトラバースして、巻くルートをとる。

P 8 岩峰の先に到達するまでのルート工作に時間を要したが、春の岩稜歩きを楽しむことが出来た。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by M.Dobashi & S.Okamura